



3C皇中

皇徳寺中学校だより

令和6年2月28日(水)

第10号



子供が独り立ちできるように

校長 山下 久美子

卒業式まであと10日あまりとなりました。中学校は3年間しかないけれど、長い人生の中で、心も体も一番成長する時。「いつまでも子供じゃないよ。」と言われる気がするのがこの卒業シーズンです。ブカブカだった制服が、いつの間にか小さくなって、目線が上から見下ろすまでに身長が伸びている、ブツブツ文句を言って反抗ばかりしているようだけれど、実は親や先生の気持ちがわかっているような素振りがある。楽しそうに笑ったり、泣きながら悩みを打ち明けたり、子供の感情に一喜一憂してしまう。子供は、自分の感情がなかなかコントロールできなくても、本当は何が正しいのか、どうすれば良いかを誰よりも理解して私たち大人のことを見ている。それが中学生だと思うのです。

卒業シーズンになると思い出す話があります。それは、ある研修会に参加した時に、大学教授と助産師さんから聞いたこんな話です。

「赤ちゃんが産まれる時、苦しいのは妊婦さんばかりでなく赤ちゃんはそれ以上に苦しい。陣痛が起きて産道を通る時、1分近く息ができない。その苦しさを何度も乗り越え、赤ちゃんは産まれてくる。赤ちゃんは今のタイミングなら、産道を通る苦しさにも耐えられる、と自分の体力を見極め、その時を選んで産まれる。しかも陣痛を促すホルモンを出すのは赤ちゃん自身。そのホルモンを一気に出すのではなく最初は少しずつ出して様子を伺い、タイミングを図って陣痛を促すのだ。」

子供は私たち大人が思っている以上に周りをよく見て、タイミングのいい頃合いを計っているのかもしれない。そして、自分でその時を選択し、時期が来れば自分の道へ大きく羽ばたいていくのではないのでしょうか。その力を秘めているのです。羽ばたく時期が来ても、いつまでも幼子を見るようにハラハラしながら口を出し手を出しすぎているのは、我々大人の方なのかもしれないのです。

子供を信じて待つということを実践するのは、本当に難しいことです。

先日、辻井伸之さんのコンサートを聴きにいきました。様々な国の音楽家たちで結成されたオーケストラの方々と、堂々とピアノを奏でる姿に心が震える思いがしました。

辻井伸之さんは生まれた時から全盲ですが、生後8ヶ月頃に泣き虫だった伸之さんがピアノのCDを聞いている時だけは泣かない、おもちゃのピアノを嬉しそうに弾いている(遊んでいる)という様子を見たご両親が、「子供が好きなら応援してあげよう。」と思ったところから始まります。並々ならぬ努力で、世界的に有名なピアニストになりますが、今の姿をご両親も想像できなかったことでしょう。子供の才能は無限であり、その子供の好きをどれだけ私たち大人が応援してあげられるか。そして、子供がその好きなことに向かって自立(自律)しようとする姿をどれだけ信じて手を出さずに見守って待つことができるか。それが私たち大人に求められる姿なのかもしれません。

3年生の保護者の皆様、いつも学校の教育活動を温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。3年生が新しい道で大きく羽ばたくことができるよう、職員一同心から応援しています。

令和5年度 鹿児島学習定着度調査の結果より

<p>令和6年1月16日、17日に実施された鹿児島学習定着度調査結果についてお知らせいたします。県の平均との比較は、以下のとおりです。</p> <p>来年度も、今年度の結果を踏まえて、授業の改善・工夫に力を入れ、学力向上に努めて参ります</p> <p>なお、比較については、右の要領で記載しています。</p>	表現例	平均正答率の差
	上回っている	+3<自校
	やや上回っている	+1<自校≤+3
	ほぼ同じである	-1≤自校≤+1
	やや下回っている	-3≤自校<-1
	下回っている	自校<-3

<中学1年生>

	国語	社会	数学	理科	英語
県との比較	上回っている	やや上回っている	ほぼ同じである	やや上回っている	上回っている

<中学2年生>

	国語	社会	数学	理科	英語
県との比較	上回っている	やや上回っている	やや下回っている	ほぼ同じである	やや下回っている

<各教科の対応策>

国語	1年	様々な資料・情報を的確に読みとり、条件に応じた文章を書く力を身につけさせる。
	2年	討論・話し合いなど、自身の感覚や考えを言葉で表現する機会を増やし、伝え合う力を伸ばす。
社会	1年	社会的事象について根拠をもって自分の考えをまとめる活動を通して、細かな知識も身に付くように工夫する。
	2年	基礎基本的な知識の定着を進めるため、NAVIMAを計画的に取り組み、授業の中で既習事項を復習する時間を設定する。
数学	1年	基礎・基本の定着を図り、問題を考察し表現する力をつけさせる。
	2年	基礎計算の定着を図り、筋道を立てて考察する力をつけさせる。
理科	1年	基礎・基本の定着を図り、自らの思考における表現力の向上に努める。
	2年	基本的な用語や実験操作、法則を確認し、問題の意図に沿って解答する力をつけさせる。
英語	1年	具体的な場面で基礎表現や関連する語彙や表現に触れる機会を作る。音読に力を入れ、長文読解力を身につけさせる。
	2年	基礎的な単語の書き取りや表現の仕方、読解力の育成に努める。

学校保健委員会

2月8日(木)、今年度最後の学校保健委員会が開催されました。栄養管理士の吉田久美子さんに「受験生応援！成長期の栄養学」というテーマで「食」について講話をしていただきました。集中力を高めて、力を発揮するには、過不足なくバランスよく食事をとることの必要性について詳しく説明がありました。その中でも、朝食摂取と学力の関係は各種調査で証明されていることから、「朝ごはんは頭スイッチON」と朝ごはんは、取らないことが一番よくないとのことで、朝ごはんを取る習慣をつけていくことと、メニューについての説明がありました。学ぶことが多く、即実践に繋がられる内容でした。

引き続き、学校、家庭が連携し子供たち健康のことについて取り組んでいきましょう。



卒業式に向けて

昨年度までの卒業式は、卒業生、保護者で開催しましたが、今年度は、在校生や来賓等も出席しての卒業式となります。在校生から卒業生へ向けての在校生合唱の準備も始まりました。卒業式は感動と共感が交差する瞬間です。心を込めて準備し、素晴らしい式にしましょう！



【3月の主な行事】

- 1日(金) 県SC来校(午前)
- 5日(火) 公立高校入試 1日目
- 6日(水) 公立高校入試 2日目
- 7日(木) 3年生クラスマッチ
- 11日(月) 同窓会入会式 卒業式予行 卒業式準備
市SC来校(午前)
- 12日(火) 第34回卒業式
- 13日(水) 公立高校合格者発表
1年生クラスマッチ
- 14日(木) 2年生クラスマッチ
- 18日(月) 市SC来校(午前)
- 25日(月) 修了式 辞任式 春季休業(~4/7)
- 27日(水) 新入生物品販売